



Raise Up “Daido Spirit”



大同メタル工業株式会社

株主のみなさまへ

第114期 報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

証券コード 7245

CONTENTS

株主の皆様へ	1
第114回定時株主総会決議のご通知	1
連結決算ハイライト	1
営業のご報告	2
中期経営計画 Raise Up “Daido Spirit” (2018-2023)	3
中期経営計画の実行	3
2023年3月期 業績予想	5
配当について	5
TOPICS	5
事業セグメント別概要(事業内容・売上高構成比)	6
決算の状況(連結)	7
業績の推移(連結)	8
企業情報	9
会社概要/役員	9
株式事項/グローバルネットワーク(主な拠点)	10
株主メモ	11
株式に関する諸手続のご案内	11
株主優待	11



代表取締役会長
兼最高経営責任者

判治誠吾



代表取締役社長
兼最高執行責任者

三代元之

第114回定時株主総会決議のご通知

2022年6月29日開催の当社第114回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- 第114期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。
- 第114期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件
第2号議案 定款一部変更の件
第3号議案 取締役8名選任の件
第4号議案 補欠監査役1名選任の件
第5号議案 役員賞与支給の件
全議案は、原案どおり承認可決されました。

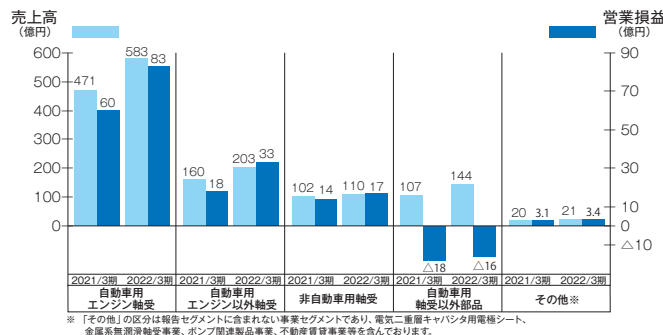
連結決算ハイライト（前年度比）

1 2022年3月期 通期連結決算概要

単位：百万円（百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入）

連結業績	【前期】 2021年 3月期通期	【当期】 2022年 3月期通期	前年度比	
			増減額	増減率
売上高	84,720	104,024	19,303	22.8%
営業利益 （営業利益率）	1,315 (1.6%)	5,042 (4.8%)	3,726 (3.3%)	283.2% -
経常利益 （経常利益率）	874 (1.0%)	4,836 (4.6%)	3,962 (3.6%)	453.2% -
親会社株主に帰属する 当期純利益 （純利益率）	104 (0.1%)	1,897 (1.8%)	1,793 (1.7%)	- -
為替レート（1USドル/円）	103.50	115.02	左記為替レートは 各期12月末TTMレート	
為替レート（1ユーロ/円）	126.95	130.51		

2 セグメント別情報 / 売上高・営業損益（セグメント間消去前）



3 セグメント別売上

◎増収要因 △減収要因

セグメント	売上高構成比 2022/3 期通期	前年度比 増減額（増減率）	増減要因ポイント項目
自動車用エンジン軸受	54.9%	11,241 (23.8%)	◎日本:乗用車では半導体供給不足等による需要の伸び悩みがあるものの新規開拓に伴う受注増 ◎日本:輸出用トラック向け（東南アジア向け等）のコロナからの回復による受注増 ◎海外全地域でのコロナからの堅調な回復による受注増
自動車用エンジン以外軸受	19.2%	4,375 (27.3%)	◎半導体の供給不足等による需要の伸び悩みがあるものの世界的な自動車部品メーカーのコロナからの回復による受注増
非自動車用軸受	10.4%	784 (7.6%)	◎船舶分野:国内船用業界の需要落ち込みの影響はあるものの継続的な中国向けの新規開拓に伴う受注増の下支え等 ◎建設機械分野他:建設機械関連向けのサービスパーツや発電機等の需要増加による受注増 △エネルギー分野:水力発電用軸受ユニットの新規受注等があったもののガスタービン・蒸気タービン用軸受の受注減
自動車用軸受以外部品	13.6%	3,706 (34.5%)	◎飯野グループ:半導体不足の影響を受けるもコロナからの堅調な回復が下支えとなり微増 ◎アルミダイカスト製品:タイの自動車関連のコロナからの回復及び電動自動車の新規納入による受注増
その他	2.0%	78 (3.8%)	◎工作機械・各種産業機械や建設機械等の需要増による特殊軸受の受注増
セグメント間消去		△ 882	
全体合計:		19,303 (22.8%)	

4 セグメント別営業損益

◎増益要因 △減益要因

セグメント	前年度比 増減額（増減率）	増減要因ポイント項目
自動車用エンジン軸受	2,327 (38.5%)	◎国内外のコロナからの回復に伴う増収による影響
自動車用エンジン以外軸受	1,509 (82.5%)	◎国内外のコロナからの回復に伴う増収による影響
非自動車用軸受	291 (20.0%)	◎建設機械分野他:の増収による影響 △エネルギー分野:の減収に伴う影響
自動車用軸受以外部品	202 (11.0%)	◎飯野グループ:コロナからの回復に伴う増収生産性向上 合理化努力による利益改善の影響 ◎アルミダイカスト製品:タイのコロナからの回復に伴う増収、労務費等の削減努力による利益改善の影響
その他	24 (7.8%)	
セグメント間消去	△ 629	
全体合計:	3,726 (283.2%)	

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当期(2022年3月期)における営業の概要についてご報告を申し上げます。

当連結会計年度における当社グループ全体の業績につきましては、売上高は1,040億24百万円となり、前期と比べ193億3百万円(+22.8%)の増収となりました。

利益面につきましては、売上高増加による収益の増加、継続的な固定費・経費の削減、収益改善活動及び生産性の向上等に取り組んだことにより、営業利益は50億42百万円と前期比37億26百万円増益(前年同期の営業利益は13億15百万円)、経常利益は48億36百万円と同39億62百万円増益(前年同期の経常利益は8億74百万円)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、当社の連結子会社であるDMキャスティングテクノロジー(タイ)CO.,LTD.の本格稼働開始にあたり、生産コストが当初の想定以上に増加し、同社の予定していた事業計画の達成に遅れが生じに伴い、4億56百万円を減損損失として計上したものの、18億97百万円と同17億93百万円増益(前年同期の親会社株主に帰属する当期純利益は1億4百万円)となりました。なお、連結業績には影響いたしません。DMキャスティングテクノロジー(タイ)CO.,LTD.の関係会社株式評価損として17億20百万円、債務保証損失引当金として3億36百万円を、また、同じく当社の連結子会社である大同メタルヨーロッパ GmbHにおいて、関係会社出資金評価損として2億44百万円を、個別決算に計上しております。

また、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等の適用により、当社グループ全体での売上高は2億23百万円減少しております。

当社グループは、2018年度から2023年度までの6年間の中期経営計画「Raise Up "Daido Spirit" ~Ambitious, Innovative, Challenging~」(“大同スピリット”を更なる高みに引き上げ、大きな飛躍を果たす～高い志、改革する意欲、挑戦する心～)を推進しておりますが、第1ステージ(2018年度から2020年度)の終了にともない、経営計画の見直しを実施し、2021年度より第2ステージ(2021年度から2023年度)の進捗に取り組んでおります。

引き続き、すべり軸受のマーケットシェアの維持拡大に注力するとともに、自動車の電動化への対応のみならず、化石燃料を用いない自動車(水素燃料車等)への対応等、自動車業界におけるニーズを新規ビジネスに結びつけるべく取り組んでまいります。

さらに、環境、エネルギーに優しい材料、機能をもつ商品の開発等に繋がる新領域研究につきましても、当社コア技術の基礎研究や新領域における技術開発を通じて、当社が長年培ってきた技術を最大限活用しながら、引き続き積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

Raise Up “Daido Spirit”

～Ambitious, Innovative, Challenging～

中期経営計画の実行

当社は次の四本の柱を経営の重要な軸と位置付け、グループ一丸・全員参加で取り組んでおります。

※・▶・*は各柱に付随する目標を示しております。

第1の柱 既存事業の磨き上げ“真のトライボロジーリーダーへ”

- ▶ マーケットシェアの拡大
- ▶ 利益体質の強化
- ▶ 生産革新・効率化、技術革新

3分野でシェアトップ確保

すべり軸受グローバルマーケットシェア(暦年ベース/当社推定値)(%)

項目	2019年	2020年	2021年
自動車エンジン用 半割軸受	33.0	33.5	36.7 TOP
ターボチャージャー用 軸受(スモールターボ)	20.5	19.6	16.1 TOP
船用低速ディーゼル エンジン用軸受	55.0	58.0	66.0 TOP
船用・産業用 中高速ディーゼル エンジン用軸受	15.0	15.0	23.0 (No.2)
ポリマー軸受	12.8	12.9	13.0 (No.2)
回転機械用軸受 (発電用タービン等)	4.6	4.9	5.6

第2の柱 新規事業の創出・育成“新たな事業の柱を築く”

- ▶ EV向けのアルミダイカスト製品の販売拡大
- ▶ 風力発電用特殊軸受事業等新規ビジネスの確立
- ▶ 新領域研究

電動化自動車向け製品の製造強化

アルミダイカスト製品

2016年度に買収したATAキャスティングテクノロジーCO., LTD.のアルミダイカスト技術を応用し、2018年度に主に電動化自動車用アルミダイカスト製品を生産するDMキャスティングテクノロジー(タイ)CO., LTD.を設立しました。



■電動化自動車向けアルミダイカスト製品の納入開始

製品：PCU用(パワーコントロールユニット)アルミダイカストケース、
モーター・インバーター用カバーケース
搭載車種：ホンダe、Fit、Vezel、日産ノートe-power 4WD、
三菱アウトランダーPHEV

新規案件

- ①ホンダ新PHEV/HEV用(日本/北米向け) ▶ 本格量産開始
- ②日産・三菱新EV用

曲げパイプ、ノックピン、NC切削品

2016年度に買収した株式会社飯野製作所の精密金属加工技術を応用し、電動化自動車用製品の製造を強化しています。

■電動化自動車向け部品(プラグインハイブリット用)の納入開始

製品：トランスミッション用パイプ、モーター部品
搭載車種：ホンダ向け22年モデル(ACCORD・CRV他)
[米国・中国・日本向け]

今後、現地材、現地生産等、競争力強化策を推進し、次期モデルでの更なる受注拡大を目指してまいります。

組織の新設[2022年4月]

電動化・カーボンニュートラル対応ユニットの新設

世界各国で加速する自動車電動化とカーボンニュートラルに対する当社グループ全体としての対応力強化のため、専担組織として、**電動化・カーボンニュートラル対応ユニット**を新設いたしました。

同ユニット内に、2つのセンターを設置

①電動化対応推進センター

自動車電動化等に対応した新規ビジネスの創出・推進

②カーボンニュートラル推進センター

カーボンニュートラルに向けた各種施策を統括

風車技術研究所の新設

風車ビジネスの拡販に向け、風車軸受に関する基礎技術開発(設計・評価)を専担する組織として、**風車技術研究所**を新設いたしました。

風車ビジネスへの取り組み

NEDO「グリーンイノベーション基金事業(洋上風力発電の低コスト化プロジェクト)」に採択

当社は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のグリーンイノベーション基金事業「洋上風力発電の低コスト化プロジェクト」(以下、「本プロジェクト」)において、次世代風車技術開発事業(風車主軸受の滑り軸受化開発)に



応募し、2022年1月21日、採択されました。

本プロジェクトは、風車の大型化に対応する次世代風車要素技術の開発を踏まえ、深い海域でも設置が可能な浮体式を中心とした洋上風力発電のコスト低減によって導入拡大を目指すプロジェクトです。

本プロジェクトを通じて、洋上風力発電の社会実装ならびに2050年のカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

第3の柱 強固な基盤の確立“経営基盤の整備”

- ▶ 連結経営管理の高度化
- ▶ グローバル品質保証・グローバル技術開発・グローバル生産体制の再構築
- ▶ グローバルガバナンス・グローバル人事制度の導入
- ▶ 財務基盤の強化

第4の柱 組織・コミュニケーションの活性化 “柔軟で活力のある組織・人”

- ▶ コミュニケーションの活性化
- ▶ チャレンジを支援する仕組み作り
- ▶ 活力ある組織作り・働き方改革

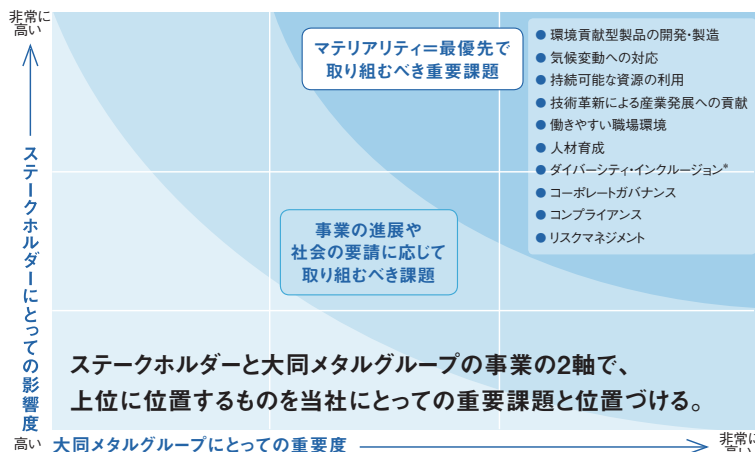
「健康経営優良法人2022 (大規模法人部門)」に認定



中期経営計画の土台である 「ESG経営による企業価値の向上」

マテリアリティ(重要課題)の特定

事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献、企業価値を向上させ、中長期的に成長していくために、ESGの分野で優先的に取り組むべき重要課題(マテリアリティ)の特定を行いました。



*性別、年齢、障がい、国籍などの外面の属性や、ライフスタイル、職歴、価値観などの内面の属性にかかわらず、それぞれの個を尊重し、認め合い、良いところを活かすこと。

今後の世界経済は、新型コロナウイルス変異株の感染拡大、世界的な半導体不足及びウクライナ情勢の影響に伴う原材料・エネルギー価格の高騰等、先行き不透明な経営環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループは固定費・経費の削減、収益改善活動及び生産性の向上等に引き続き取り組んでまいります。

なお、次期連結会計年度の第2四半期(累計)及び通期の連結業績につきましては、下記のとおり見込んでおります。

❖ 第 2 四半期 (累計)

連結	前年実績 / 予想 (百万円)			
	2022/3 期 (実績)	2023/3 期 (予想)	増減額	増減率
売上高	50,315	52,500	+2,184	+ 4.3%
営業利益 (同利益率)	2,677 (5.3%)	1,550 (3.0%)	△ 1,127	△ 42.1%
経常利益 (同利益率)	2,602 (5.2%)	1,450 (2.8%)	△ 1,152	△ 44.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (同利益率)	1,188 (2.4%)	750 (1.4%)	△ 438	△ 36.9%

❖ 通期

連結	前年実績 / 予想 (百万円)			
	2022/3 期 (実績)	2023/3 期 (予想)	増減額	増減率
売上高	104,024	108,000	+ 3,975	+ 3.8%
営業利益 (同利益率)	5,042 (4.8%)	3,500 (3.2%)	△ 1,542	△ 30.6%
経常利益 (同利益率)	4,836 (4.6%)	3,300 (3.1%)	△ 1,536	△ 31.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (同利益率)	1,897 (1.8%)	1,700 (1.6%)	△ 197	△ 10.4%

※想定為替レート： 1USD/115 円、1ユーロ/130 円

当期の期末配当につきましては、長期安定的な剰余金の配当水準を維持する方針に基づき、通期の連結業績などを総合的に勘案した結果、1株当たり15円としたいと存じます。

次期の配当につきましては、1株当たり年間25円(中間配当10円、期末配当15円)を予定いたしております。

	【前期】 2021 年 3 月期	【当期】 2022 年 3 月期	【次期】 2023/3 期 (予定)
中間	10 円	10 円	10 円
期末	10 円	15 円	15 円
年間	20 円	25 円	25 円
配当性向	888.7%	61.4%	68.4%

TOPICS

米国カミンス社より 「新機種開発サポート賞」を初受賞 (2021年12月)

当社の北米の販売拠点である大同メタル U.S.A. INC.は、2021 年 12 月、カミンス社より、2021 年度 Cummins Supplier Recognition Awards において特に優秀だったサプライヤーとして「新機種開発サポート賞」を初受賞しました。

当社は、2017 年に大同メタル U.S.A. INC. インディアナ支店を開設し、現地における更なる営業力及び技術サービスの向上に向けた活動を推進してまいりました。

新規開発案件への参入が増えてきている中でも特に、2021 年に新規で立ち上げたライトトラックディーゼルエンジン用スベリ軸受が高く評価され、大同メタルU.S.A. INC. を通じて受注いたしました。

当該製品は、メキシコ工場(大同メタルメキシコ S.A. de C.V.)にて初の現地生産を開始、その品質の高さ、スピーディな対応力や現地調達率の向上への寄与も評価されました。

このたびの受賞を励みとして、今後もますますカミンス社との連携を深め、当社グループ一丸となってディーゼルエンジンの更なる高性能化に貢献してまいります。



事業セグメント別概要（事業内容・売上高構成比）

自動車用エンジン軸受

■事業内容

自動車（乗用車・トラック・レーシングカー）エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機（ターボチャージャー・バルancer機構、インジェクションポンプ）用軸受など。

〈主な製品〉



▲半割メタル



▲スラストワッシャー



▲ターボチャージャー用ベアリング

自動車用エンジン以外軸受

■事業内容

自動車部品（トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング等）用軸受など。

〈主な製品〉



▲ショックアブソーバー用ブッシュ



▲スターター用ブッシュ



▲射出成型軸受

非自動車用軸受

■事業内容

船舶ディーゼルエンジン用軸受、発電（水車・タービン等）用軸受、産業用（コンプレッサー・増減速機等）軸受など。

〈主な製品〉

大型船舶用軸受



▲低速ディーゼルエンジン用軸受

建設機械・中小型船舶用軸受



▲中高速ディーゼルエンジン用軸受

発電用軸受



▲特殊軸受（タービン用など）

一般産業用軸受



▲ドライベアリング

自動車用軸受以外部品

■事業内容

自動車用アルミダイカスト製品、曲げパイプ、ノックピン、NC切削品など。

〈主な製品〉



▲PCU ケース



▲パイプ成型加工品



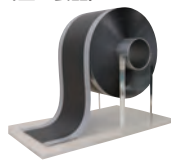
▲切削加工品

その他

■事業内容

電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受、食品・飲料・化粧品等用のロータリーポンプ、工作機械用集中潤滑装置、吸音板（カルム）など。

〈主な製品〉



▲電気二重層キャパシタ用電極シート

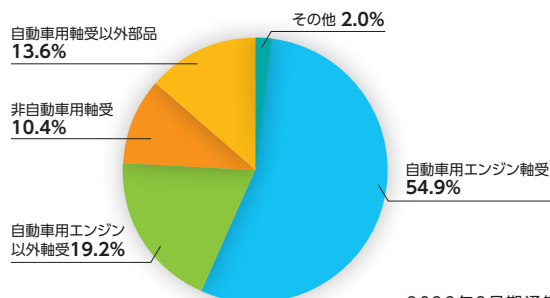


▲ロータリーポンプ



▲集中潤滑装置（MR-LUB）

売上高構成比（外部売上比率）



2022年3月期通期

連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目		前期 (2021年3月31日)	当期 (2022年3月31日)
資産の部	流動資産	75,242	85,928
	固定資産	79,934	80,227
	有形固定資産	57,931	57,291
	無形固定資産	12,623	11,497
	投資その他の資産	9,379	11,439
	資産合計	155,176	166,155
負債の部	流動負債	57,452	65,414
	固定負債	33,185	32,045
	負債合計	90,637	97,460
純資産の部	株主資本	57,356	58,534
	資本金	8,413	8,413
	資本剰余金	13,114	13,114
	利益剰余金	36,609	37,567
	自己株式	△ 780	△ 560
	その他の包括利益累計額合計	△ 968	1,805
	その他有価証券評価差額金	995	981
	為替換算調整勘定	△ 1,170	906
	退職給付に係る調整累計額	△ 793	△ 82
	非支配株主持分	8,150	8,355
	純資産合計	64,538	68,695
負債純資産合計		155,176	166,155

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目	前期 (2020年4月1日～ 2021年3月31日)	当期 (2021年4月1日～ 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,098	13,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,043	△ 8,072
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,098	△ 5,076
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 489	171
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 532	230
現金及び現金同等物の期首残高	19,170	18,637
現金及び現金同等物の期末残高	18,637	18,868

連結損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目	前期 (2020年4月1日～ 2021年3月31日)	当期 (2021年4月1日～ 2022年3月31日)
売上高	84,720	104,024
売上原価	65,200	77,266
売上総利益	19,520	26,758
販売費及び一般管理費	18,205	21,715
営業利益	1,315	5,042
営業外収益	646	890
営業外費用	1,088	1,096
経常利益	874	4,836
特別利益	571	-
特別損失	-	456
税金等調整前当期純利益	1,445	4,379
法人税、住民税及び事業税	737	2,364
法人税等調整額	111	△ 480
当期純利益	597	2,494
非支配株主に帰属する当期純利益	493	597
親会社株主に帰属する当期純利益	104	1,897

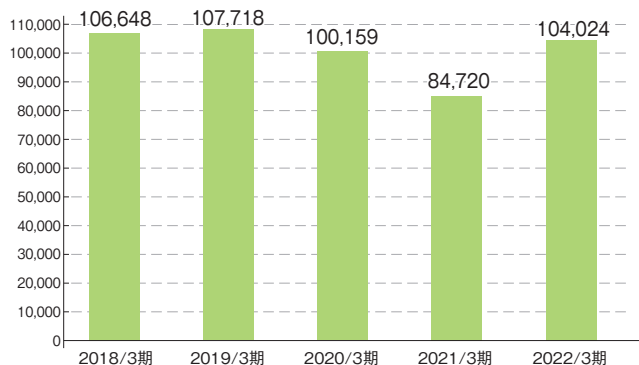
連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（2021年4月1日～2022年3月31日）

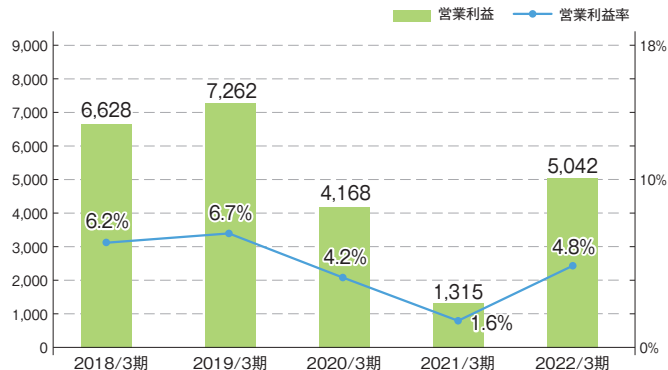
単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目	株主資本	その他の 包括利益 累計額合計	非支配 株主持分	純資産 合計
当期首残高	57,356	△ 968	8,150	64,538
会計方針の変更による累積 的影響額	10			10
会計方針の変更を反映した 当期首残高	57,367	△ 968	8,150	64,548
当期変動額				
剰余金の配当	△ 950			△ 950
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,897			1,897
自己株式の取得	△ 0			△ 0
自己株式の処分	220			220
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）		2,774	205	2,979
当期変動額合計	1,167	2,774	205	4,146
当期末残高	58,534	1,805	8,355	68,695

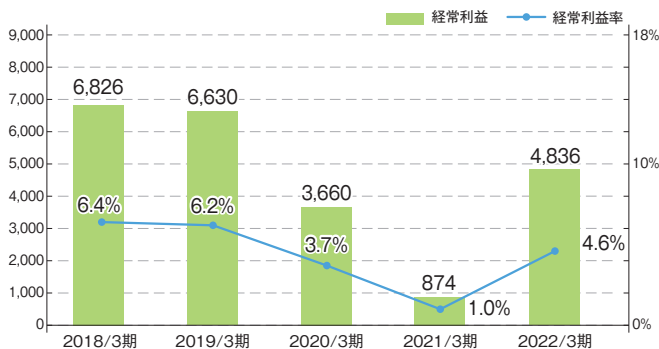
❖ 売上高



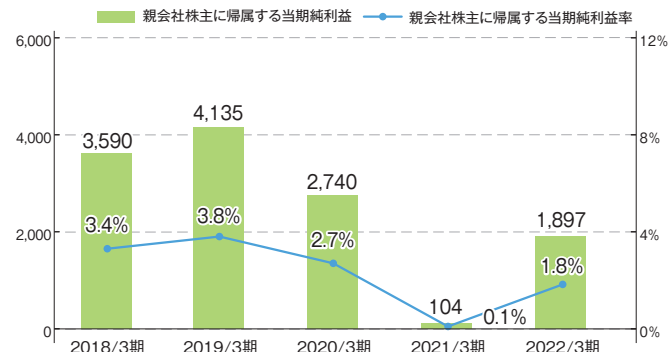
❖ 営業利益



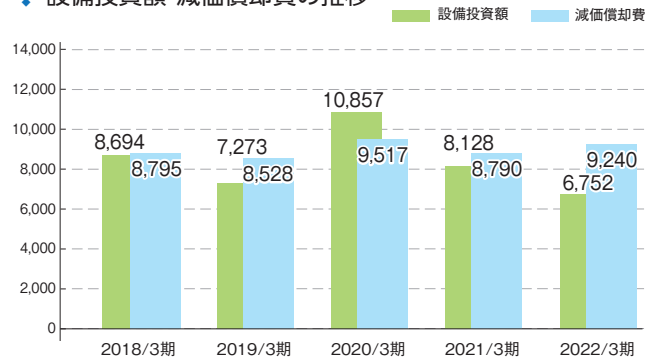
❖ 経常利益



❖ 親会社株主に帰属する当期純利益



❖ 設備投資額・減価償却費の推移



❖ 主要財務指標

	2018年 3月末	2019年 3月末	2020年 3月末	2021年 3月末	2022年 3月末	対前期末比
自己資本利益率 (ROE)	7.7%	7.9%	4.9%	0.2%	3.3%	+3.1P
自己資本比率	30.3%	35.0%	35.1%	36.3%	36.3%	-
純有利子負債 (有利子負債－現預金)	52,129	39,811	37,211	36,462	34,110	△ 2,351

会社概要

(2022年3月31日現在)

設 立	1939 年 (昭和 14 年) 11 月 4 日		
資 本 金	8,413 百万円		
従 業 員 数	連結 6,984 名／個別 1,365 名		
事 業 内 容	●自動車用エンジン軸受 自動車(乗用車・トラック・レーシングカー)エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルンサー機構)用軸受など ●自動車用エンジン以外軸受 自動車部品(トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング)用軸受など ●非自動車用軸受 低速(2サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、中高速(4サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、発電(水車・タービン等)用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等)軸受など ●自動車用軸受以外部品 自動車用エンジンやトランスミッション周辺の高精度・高品質部品(曲げパイプ、ノックピン、NC切削品等)、自動車用アルミダイカスト製品など ●その他 電気二重層キャパシタ用電極シート事業、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、吸音板(カルム)、不動産賃貸事業など		
本 社	名古屋本社 〒460-0008	名古屋市中区栄二丁目3番1号 名古屋広小路ビルディング13階	
	東京本社 〒140-0002	東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階	
国内生産拠点	犬山工場(犬山事業所内) バイメタル製造所(犬山事業所内) TMBS工場(犬山事業所内) TMBS＝ターボマシナリーベアリングシステム(回転機械用軸受)	前原工場(犬山事業所内) 岐阜工場	
国内販売拠点	東京支店、名古屋支店、大阪支店、北関東営業所、浜松営業所、広島営業所、九州営業所		
関 係 会 社			
●国 内	大同ブレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社、大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社、大同メタル佐賀株式会社、大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社、大同ロジテック株式会社、株式会社アジアケルメット製作所、株式会社飯野製作所、ATA キャスティングテクノロジージャパン株式会社		
●海 外 (主な拠点)	【アジア】 中原大同股份有限公司(台湾) PT. 大同メタルインドネシア(インドネシア) 同晟金属株式会社(韓国) BBL 大同プライベートLTD.(インド) ダイナメタルCO., LTD.(タイ) 韓国ドライベアリング株式会社(韓国) フィリピン飯野 Corp(フィリピン) PT. 飯野インドネシア(インドネシア) ATA キャスティングテクノロジ CO., LTD.(タイ) DM キャスティングテクノロジ(タイ) CO., Ltd.(タイ) 【中国】 大同精密金属(蘇州)有限公司 飯野(佛山)科技有限公司 広州原同貿易有限公司 【ヨーロッパ】 大同インダストリアルベアリングヨーロッパLTD.(英国) 大同メタルチェコ s.r.o.(チェコ) 大同メタルコントロール AD(モンテネグロ) 大同メタルヨーロッパLTD.(英国) 大同メタルヨーロッパ GmbH(ドイツ) 大同メタルロシア LLC(ロシア) 【北米】 大同メタル U.S.A. INC.(米国) 大同メタルメキシコ S.A. DE C.V.(メキシコ) 大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V.(メキシコ) ISS アメリカ INC.(米国) ISS メキシコマニュファクチャリング S.A. DE C.V.(メキシコ)		

役員

(2022年7月1日現在)

【取締役及び監査役】

代表取締役会長 兼最高経営責任者	判 治 誠 吾
代表取締役社長 兼最高執行責任者	三 代 元 之
取締役 常務執行役員	佐 藤 善 昭
取締役 常務執行役員	墓 越 繁 昌
取締役 常務執行役員	吉 田 有 宏 (新任)
☆ 取締役	武 井 敏 一
☆ 取締役	星 長 清 隆
☆ 取締役	白 井 美 由 里 (新任)
常 勤 監 査 役	玉 谷 昌 明
☆ 監 査 役	田 辺 邦 子
☆ 監 査 役	松 田 和 雄

【注】 ☆印は会社法に定める社外取締役及び社外監査役であります。

【執行役員(格も含む)】

常 務 執 行 役 員	古 川 智 充
常 務 執 行 役 員	平 松 伸 隆
上 席 執 行 役 員	正 田 健 二
上 席 執 行 役 員	川 瀨 二 誠 (昇任)
上 席 執 行 役 員	渡 部 晃 貴 (昇任)
上 席 執 行 役 員	伊 藤 啓 貴
執 行 役 員	小 島 尚 敦
執 行 役 員	林 中 野 雅 裕
執 行 役 員	立 木 志 津 夫
執 行 役 員	浅 野 嚴 文
執 行 役 員	市 橋 利 一
執 行 役 員	栗 田 直 樹
執 行 役 員	籠 原 幸 彦
執 行 役 員	川 原 主 税
執 行 役 員	落 合 輝 彦
執 行 役 員	岩 倉 弘 記 (新任)
執 行 役 員	土 屋 重 人
執 行 役 員	片 桐 武 司
執 行 役 員	ティム アレン

株式事項 (2022年3月31日現在)

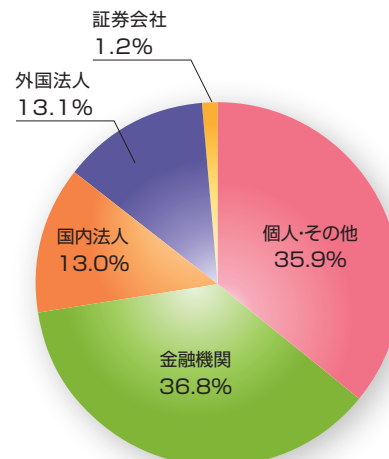
株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000 株
 発行済株式の総数 47,520,253 株 (自己株式 1,344 株を含む)
 株 主 数 13,385 名

大株主

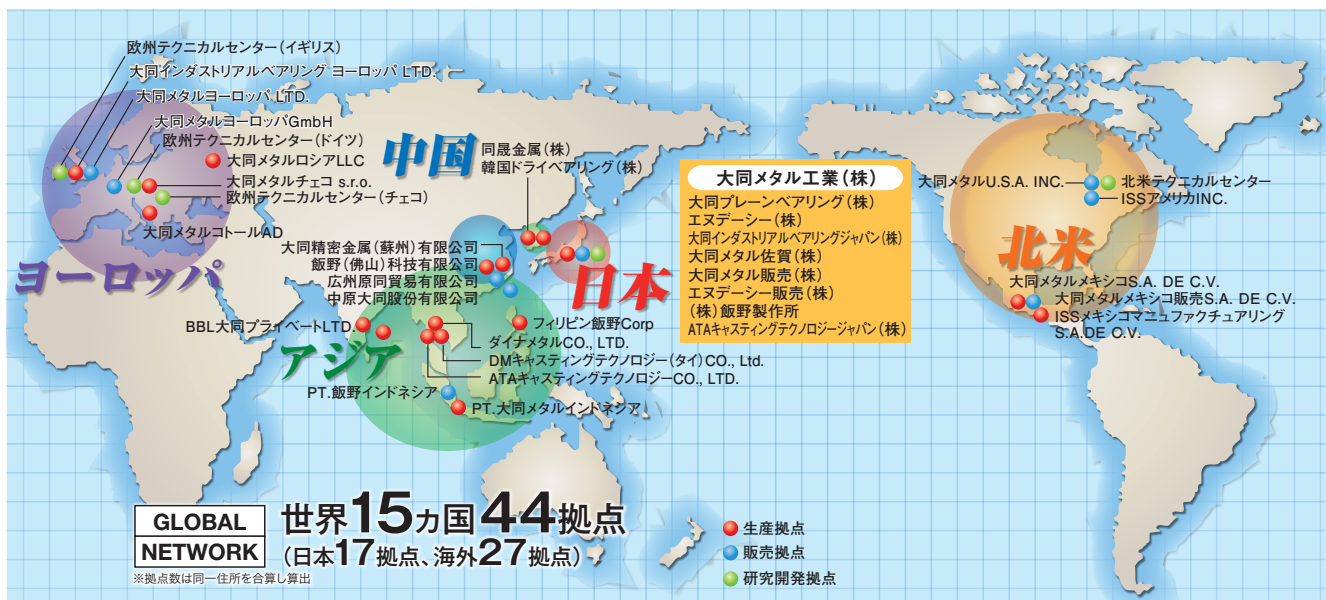
株 主 名	持株数 (千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,883
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,176
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
株式会社三菱 UFJ銀行	1,822
大同メタル友栄会持株会	1,663
大同メタル従業員持株会	1,489
東京海上日動火災保険株式会社	1,107
THE SERI WATHANA INDUSTRY CO.,LTD 703000	1,000
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	886

所有者別株式保有状況



グローバルネットワーク (主な拠点)

(2022年3月31日現在)



事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年 6 月		
基準日	定時株主総会：毎年 3 月 31 日 期 末 配 当：毎年 3 月 31 日 中 間 配 当：毎年 9 月 30 日	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社
単元株式数	100 株	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ (http://www.daidometal.com/)に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。		
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミア市場		

株式に関する諸手続きのご案内

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

- | | |
|---|--|
| 1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)
0120-782-031 [受付時間：平日 9:00～17:00] | 2 インターネットによる株式に関する諸手続きのご案内
三井住友信託銀行： https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ |
|---|--|

株主優待

株主優待制度の概要

- 株主優待の対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された、500株以上を保有の株主様。
- 株主優待の内容
毎年3月31日現在の保有株式数と継続保有期間に応じて、クオカードを年1回贈呈。
- 株主優待の贈呈時期
対象株主様には、定時株主総会終了後の6月下旬に報告書等とともに発送いたします。

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
500 株以上～1,000 株未満	クオカード 1,000 円分	クオカード 2,000 円分
1,000 株以上～5,000 株未満	クオカード 1,500 円分	クオカード 2,500 円分
5,000 株以上	クオカード 2,000 円分	クオカード 3,000 円分

※「継続保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録され、かつ3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、500株以上の保有が7回以上連続で記載または記録された株主様といたします。

将来に関する事項につきましては、現在において当社グループが判断した一定の前提に基づいたものであります。
これらの記載は実際の結果とは異なる可能性があり、その達成を保證するものではありません。

IR専用サイトURL

<https://www.ir.daidometal.com/>



大同メタル工業株式会社



<https://www.daidometal.com/>



環境に配慮した
「植物油インキ」を
使用しています。



適切に管理された森林で
生産されたことを示す「FSC®」
認証紙を使用しています。